

(様式2)

平成14年度 次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業

実施報告書

1 学校名

岐阜県立岐阜北高等学校

2 実施内容

- 1) 全職員がインターネット等を利用し、コンピュータの操作に慣れる。
- 2) 教育用コンテンツを作成し、コンピュータを利用した授業展開を実施する。
- 3) 授業での生徒用メール活用

3 実施時期

4月～7月

4 成果と課題

- 1) 高速インターネットの常時接続という好環境の中で、多くの教員がインターネットを活用し教材研究をするなど、日常的にコンピュータを利用できるようになった。
- 2) 教育用コンテンツに関しては、学校全体としては「まだこれから」という感はあるが、個々に研究は進みつつある。後期に、校内研修会等を開き、できるだけ多くの本校独自のコンテンツを作成していく。
- 3) 一般教室の中でコンピュータを利用した授業展開では、プロジェクタやスクリーンのセッティングのトラブルが相次ぎ、時間のロスが目立った。
- 4) 国語の授業でメールの活用を研究し、実際の授業で活用してみた。生徒は、最初の頃、コンピュータを操作することに主眼が移ってしまっていたが、次第に、その中身に強い興味を持ち、意欲的に取り組む姿が見られた。

5 今後の方向

実践計画に基づき実践を進めていくが、特に下記事項に力点を置く。

教員のスキルアップをはかり、コンピュータを使った情報伝達
各教科毎の教育用コンテンツ作成
TV会議システムを利用した生徒交流
メールを利用した海外交流
各クラスのホームページ作成